

# 甲賀市図書館サービス計画

概要版

## 1. 計画の目的

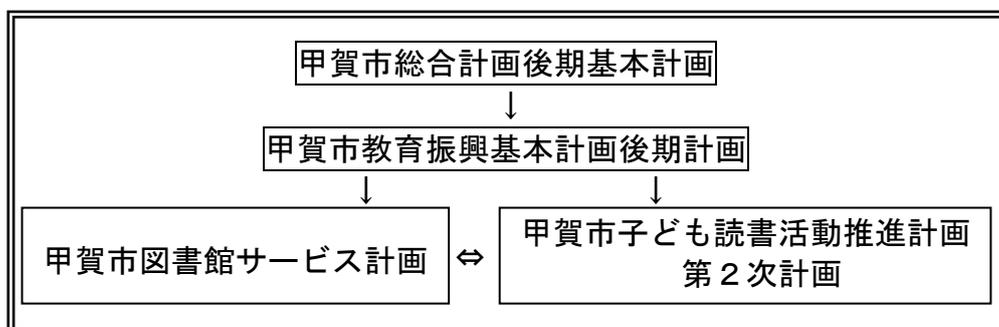
甲賀市図書館が「だれもが集い、であい、学ぶことのできるみんなの図書館」になるよう、図書館の使命や目標を市民へ示し、それを実践するために策定しました。

## 2. 計画の経緯・背景

第2次甲賀市行政改革推進計画において、より充実した図書館サービスを展開するための運営方針の策定が定められています。このことから図書館では、他自治体図書館へのアンケート調査、図書館協議会による検証作業など、様々な角度から図書館運営とサービスの今後のあり方を見つめ直し、さらに甲賀市社会教育委員の会議および図書館協議会からの提言を取り入れ、本サービス計画を策定したものです。

## 3. 計画の位置付け

本計画は、関連する計画との整合性を図りながら、図書館運営の基本的な方向と具体的な方策を明らかにするものです。



## 4. 計画の期間

本計画の期間は、平成26年度から概ね5ヵ年とし、社会情勢の変化に応じて計画の見直しを行っていきます。

## 5. 甲賀市図書館の現状と課題

### (1) 計画的な資料の収集と保存について

地域館それぞれが、市民の興味や知的好奇心を喚起する蔵書構成、さらに、利用者がもてる資料を的確に把握しながら、中長期的な視点で地域の特性に合わせた収集・選書基準を設ける必要があります。

## (2) レファレンスサービスについて

利用者に十分に認知されているとは言えず、より多くの方に気軽に利用していただくためのPRが必要です。また、蓄積されたレファレンス事例を有効に活用することで、利用者に満足いただけるサービスを提供し、市民の課題解決を支援する窓口とならなければなりません。

### レファレンスサービス

何らかの情報を求めている図書館利用者に対して、図書館員が行う人的援助。ここでは利用者の質問に対して回答もしくは回答の含まれる情報源を提供するサービスを指します。

## (3) 児童サービスについて

児童書の収集・提供を重視し、これまでも多様なサービスを行ってきましたが、ヤングアダルトコーナーの充実やブックリストの発行による図書館利用のPRに努める必要があります。

また、学校との連携において、おはなし会やブックトークなど知識や技術の伴うサービスは、対応できる職員が限られ、サービスの拡充が難しいのが現状です。

このことから、職員全体のスキルアップを図るとともに、学校図書館と相互に高めあう取り組みを展開することが課題です。

## (4) 障がい者サービスについて

現在、視覚障がい者の方には、音声資料の郵送・宅配、音訳グループと連携した対面朗読サービス、高齢者の方には、大活字資料の提供・老人ホームへの宅配・サロンでのおはなし会、また、遠隔地にお住まいの方に向けての移動図書館車による巡回などの各種のサービスを実施しています。

超高齢社会を目前にして、現状のサービスにとどまらない細やかな図書館サービスが行えるよう、一層の人的確保や技術の習得が望まれます。

## (5) IT技術活用、機械化によるサービスについて

5館のシステム統一が実現し、インターネットサービスを開始するなど、システム面でのサービス向上については一定の成果を上げました。

今後は、新しい技術の導入についても積極的に検討するとともに、利用者の情報レベルに格差が生じないように配慮して行くことが必要です。

## (6) 行事・集会活動と市民との協働について

いずれの地域館でも、映画会、コンサート、ギャラリー展示など、毎月多くの行事や集会活動を行っていますが、市民の認知度は低く、図書館が学びと交流の場として活かされていないのが現状です。一方、市民ボランティア活動は、行事・集会活動のみならず、図書館サービスの展開においてとても大きな推進力となっています。

今後は、学習機会の提供となる企画や新しい協働事業を提案し、多くの市民の参加を呼びかける必要があります。

## (7) 図書館の広報・アピールについて

市民のみなさんが、図書館を生活の一部として役立てていただくために、行政情報番組「きらめきこうか」などの活用を広げ、近隣施設とのイベントでの連携など、積極的な広報を進めなければなりません。

## (8) 市内各機関との連携について

「ブックスタート事業」、「チャレンジ読み聞かせ」などの連携事業では、図書館を利用されていない方もおられ、図書館利用の入口ともなる機会になっています。このことから、各機関との連携事業を新しく企画しながら、新規利用者の拡大を図っていく必要があります。

## (9) 図書館長の役割と職員の資質向上について

図書館長には、運営の指揮や図書館全体の課題解決が、職員には、図書館の専門業務と合わせ、行政職員としての資質の向上が求められます。

いずれの立場においても、図書館から読書の素晴らしさを伝えていく方法の研究や、利用者の多様な要望に対応するための技術の向上は、職員全体で取り組むべき課題です。

## (10) 施設の維持管理について

甲賀市図書館は、「ゆっくりと読書をし、文化的交流を深めることのできる」滞在型の施設を目指しています。赤ちゃんから高齢者まで大勢の方が集う施設として、安全・快適にご利用いただけるよう今後も計画的に改修に努めます。

また、開館日時については、各館の休館日をずらし、夜間開館を一部で実施するなど利用者の利便性に配慮しています。今後の開館日時のあり方については、利用予測や職員体制を十分考慮して調査・検討する必要があります。

## 6. 甲賀市図書館の使命

私たち図書館の使命は、

**だれもが集い、であい、学ぶことのできる  
みんなの図書館**  
になることです。

図書館は、すべての市民の「知りたい」「学びたい」という思いに答えられる、最も親しみやすい生涯学習施設でなければなりません。また、知識や情報の提供を通じ、地域の振興を支援する役割を果たさなければなりません。

甲賀市図書館は、あらゆる情報の窓口であり、だれもが集える開かれた図書館として、豊かな暮らしと活気あるまちづくり、ひとづくりを支えることを使命とします。



## 7. 図書館のめざす姿と具体的な取り組み

甲賀市図書館の使命に基づき、備えるべき機能やサービスの向上を実現するため、次の4つの目標を「めざす姿」として掲げ、具体的な取り組みを進めます。

### 目標1. まちの知恵袋

地域の情報拠点として、市民に役立つ身近な図書館になります。

- ①甲賀市独自の魅力的で豊かな蔵書づくり
  - ・ 特色ある地域館の蔵書構成
  - ・ 多様なメディアの収集
  - ・ 地域資料の体系的な収集・整理
  - ・ 課題解決支援のための資料収集
  - ・ リクエストサービスの充実
  - ・ 安定した資料費の確保
- ②レファレンスサービスの充実
  - ・ レファレンス事例の収集・活用
  - ・ レファレンスツールの充実
  - ・ レファレンスサービスのPR
- ③図書館の利用が困難な人への支援
  - ・ 遠隔地域への積極的なサービス提供
  - ・ 活字資料の利用が困難な人のための資料と機器の整備
  - ・ 日本語を母国語としない人のための資料の整備と充実
  - ・ サービス拡充のための人的資本の確保

### 目標2. まちのオアシス

本と人、人と人がであい、新たな交流の場となる図書館になります。

- ①学びと交流の場の提供
  - ・ 講座・教室の開催
  - ・ 市民交流参加型イベントの開催
  - ・ 市民活動（生涯学習活動）の支援
- ②利用促進のための広報活動
  - ・ 図書館だよりのリニューアル
  - ・ 図書館ホームページのリニューアル
  - ・ 図書館の使い方講座の開催
  - ・ 館外での広報活動
- ③だれもが快適に滞在できる施設の整備
  - ・ 居心地のいい空間づくり
  - ・ 赤ちゃんと一緒に安心して過ごせる設備
  - ・ 案内表示の改善
  - ・ 開館日・開館時間の見直し
  - ・ 計画的な修繕の実施

### 目標3. まちのパートナー

まちづくりを支援し、市民とともに歩む図書館になります。

- ①協働事業の提案と市民参加の促進
  - ・ 新しい協働事業の実施
  - ・ 図書館ボランティアの育成
  - ・ 図書館協議会との更なる連携
  - ・ 市民アンケートの実施
- ②庁内各機関との連携
  - ・ 他課との連携事業の拡大
  - ・ 行政資料収集の協力体制づくり
  - ・ 行政サービスの課題解決に役立つ資料の収集・提供
- ③市民のニーズに応えることのできる図書館職員へのレベルアップ
  - ・ 研修への積極的な参加
  - ・ 職場内での専門研修の実施
  - ・ 図書館利用者の声を拾う環境づくり
  - ・ 図書館サービスが効率的・効果的に行われているかの検証

### 目標4. まちのゆりかご

子どもたちの豊かな心と生きる力をはぐくむ図書館になります。

- ①子どもたちの読書環境の充実
  - ・ 児童書の計画的な収集
  - ・ 児童サービスの拡大
  - ・ ヤングアダルトサービスの充実
  - ・ 小・中学校との連携
  - ・ 子育て世代への支援